

＜サンプル投稿案＞

活動実績（今後の構想も含めてよい）	概要	自分の役割	懸念点・改善案（そのために必要なことを含む）
例) FD 講演会	年 1 回外部講師を招いて FD 関連のトピックで講演会を実施	責任者・担当者・見学者・参加者・その他（ ）	出席率は高いが、その場限りで終わってしまって効果があるか心配
実績 FD セミナー	1 年に 1 回、全学の FD 担当者と協力して、中堅の教員を対象とした講演会を学部ごとに実施。講演会では、授業改善のための TIPS について、教育学部の教員が講演。	責任者・担当者	出席率が低く、また、出席をしていても役に立ったという声が聞こえない。全員参加必須と強制力を持たせてしまうとよいか。
実績 新任教員研修会	毎年 4 月になると、着任した教員、新たに授業を担当する非常勤講師、ポスドクに対して、新任教員研修会を実施。研修会は学部ごとに開催し、対象学部のカリキュラムの説明、シラバスで記載すべき内容等について説明している。	責任者・担当者	出席率は高く、非常に役だったという声も聞くものの、学期最後の授業アンケートの結果では、新任教員の授業に対する評価はあまり高くない。ベテラン教員をアドバイザーとして一人ひとりにつけると良さそうか。
実績 FD シンポジウム	3 か月に一度、大学教育センターが提供する外部講師を招いて行う講演会へ参加。講	参加者	FD と関連する重要そうな情報が得られるが、自大学の教員に対してはもう少しかみ砕いて伝えたい。個々の教員にとっては、あまり自身の授業とは関係ないと思われるかもしれない。自分なりに簡単な要約を作成して、メ

	演会では大学におけるFDの重要性や他大学の取組、文科省の政策等がテーマである。		ールで配信すると良さそうか。
実績 〇〇大学:FD オンラインセミナー	昨年、〇〇大学が主催するFDセミナー(一日)へ出席。セミナーでは、コロナ禍でどのようにオンラインと対面の授業を組み合わせると良いか、他大学の取り組み事例を聞いた後、5名のグループで実践例をお互いに紹介した。	参加者	自大学でも使えそうな実践例はあったが、どのようにして各教員を支援すると良さそうか、いまいちイメージがわからない。同じような問題で困っている教員はいそうだが、もらった資料を教員とメールで共有すると良さそうか。
今後の構想 ワークショップ	次年度のシラバスを書く2月頃、教員向けに、実際にシラバスを持ち寄って改善するワークショップを開催したい。授業の評価が高い教員が授業の評価が低い若手教員に対してアドバイスする体制作りを進めたい。	責任者・担当者	実際にどのようにワークショップを運用すると良いのか、単純にシラバスを見せあって話し合えでは駄目な気がするが、具体的にどのようにすればよいかかわからない。